

- 第6回研修会開催報告 ……………1
- 漢字同好会からのお知らせ ……2
- 漢字一字に込める想い ……3
- 漢感興起～巷に生きる漢字あれこれ～ ……4
- 初めて一級に合格しました! ……7
- お知らせ 投稿募集 ……………8

## 第6回 会員向け研修会開催報告

12月15日(土)に東京都の日本青年館において、第6回会員のための研修会を開催し、132名の参加がありました。漢和辞典編集のご経験をお持ちの円満字二郎氏によるご講演では、辞典作成に関わる情報の盛り込み方や分析の仕方についてのお話をいただきました。

### 講演の部 要旨

#### 漢字の辞書の作り方

～ことばの辞典と文字の辞典～

編集者・ライター  
円満字二郎氏



英和辞典とは、英語を日本人に日本語で説明するもので、国語辞典とは、日本語を日本人に日本語で説明するものです。では漢和辞典は、何を誰にどのような説明するものなのでしょうか。

一九〇三年に我が国で初めて刊行された漢和辞典『漢和大事典』(三省堂)は、中国の古典語を日本語で説明するものでした。そのため、実際に日本で使用されている漢字の言葉の説明にはなっておらず、新しい熟語が多く生まれていた当時の要請にあわないうという批判がおこり、以後「中国語としての漢字」ではなく「日本語としての漢字」を日本人に日本語で解説する漢和辞典が求められるようになりました。

「日本語としての漢字」を具体的に考えた時、もう一つ複雑な問題に直面します。中国語は、原則として漢字一文字が一つの単語になっていますが、日本語として使われる漢字は、単独では語にならないものが多く存在します。例えば「暑」は、「暑い」「残暑」のように別の語を伴わないと単語として成立しません。よって、「日本語としての漢字」の多くは、言葉を生み出す元になるものに過ぎず、漢和辞典も必然的に「言葉の辞典」ではなく「文字の辞典」という性格になるのです。

そのような漢和辞典を構成する要素は「形(書き表し方)・音(読み方)・義(意味・用法)」の三つがあるとされています。しかし、実際に掲載されている情報を見ると、この三つだけではうまく分類できない場合があります。例えば訓読みは、読み方でも意味でもあるため、音と義の要素を持ち合わせています。訓読みの送り仮名に至っては、「どこから送るか」は書き表し方の情報なので、音・義に加えて形にも関連します。このように、漢和辞典に掲載すべき情報を一つずつ解き明かしていくと、全ての情報が形・音・義のいずれかに必ずしも分けられるわけではないことに気が付きます。

では、実際の辞書の構造を見ていきましょう。例えば「挙」という字について、訓読みでもありその字の意味でもある「挙げる」には、「上の方に持つていく(手を挙げる)」「多くのものの中から選ぶ(例を挙げる)」「公に何かを実行する(結婚式を挙げる)」「みんなで一緒に何かをする(一家を挙げる)」の意味があります。他の訓読み「そる」にも「みんなで一緒に何かをする」という意味があります。

しかしこれでは「挙げる」「そる」という日本語の説明となり、「そる」そのものの漢字の説明にはなっていません。漢和辞典は文字の辞典ですから、このように枝分かれした意味をどうにか組み合わせ、その漢字そのものが持つ本来の意味を探る必要があると私は考えています。

そういった視点で意味を統合していくと、「目立つ・目立たせる」という共通項があるように思われます。ここで、この仮定が正しいか確認するため手段として、成り立ちを調べます。成り立ちには、漢字そのものの意味のヒントが潜んでいるからです。「そる」は、旧字体は「擧」と書き、「與」の部分は四方から伸びた手が何かを持ち上げている様子とされています。こういうことから、「両手を使って持ち上げる」、「みんなで一緒に何かを行う」、「転じて「目立つ」というように、「そる」そのものの意味が一つにまとまっていくのです。再度、枝分かれした意味を眺めると、手を「そる」場合も目立たせたいと挙げるとは言わないし、選挙もみんなと一緒に目立たせる行為だからこそ選「そる」であるとかわり、意味がこれまで以上に明確になってくるのです。

観察して分析して説明して解釈する、ここまですぐ大方の辞書の手法です。しかし漢和辞典は、分析されてバラバラになった意味をもう一度統合する。この、文字そのものの感触を復元する作業こそ、文字の辞典である漢字の辞書だけに与えられた面白さではないかと思うのです。



漢字一字に込める想い

「緘」<sup>カン</sup>、我が道を開く

宮崎県 田代さん

恥ずかしい笑い話の思い出。あの時、父から冷笑され無視されたことが、古希の今でも屈辱の一瞬として脳裡から離れない。

高校生の頃のこと。書いた手紙を封筒に入れた後、父の印鑑箱から一つの印判をこっそり拝借し封印をした。その印判は予てから父がよく押印していたものである。押印された書翰は保守性があり風格を感じていた。

私の押印を見た父が「何という漢字か知って捺したのか」と怪訝な顔で問うた。今まで見たこともない、然も変書体だったので読める筈もない。苦し紛れに当てずっぽうに答えた。書翰との関連性から、気持ちいを「緘」という字だと故事付けて口籠りながら答えた。父は無然として無言だった。その印判の漢字は楕円形の中に封緘の「緘」とじる」の刻字だった。

このことを機に、父に反発的に国語の勉強に勤しみ、書道も習い始めた。躰で、天職と自覚する文字揮毫、レタリングに携わる職業に就くことになる。そして必然的に「漢検」との出会いが待っていた。「緘」とじる」一字の出来事は奇しくも私の人生の道を開き導いてくれた気がしてならない。

「涙」

三重県 喜多さん

私は、時折、「涙」を「涙」と書くことがある。

長年の間、それは私のつまらぬ癖だと思っていた。だが、漢検の勉強をして、それは「涙」の旧字体であると知った。

私は昭和二十五年の生まれである。終戦から五年経っているとはいえ、多くの家はまだまだ貧しく、我が家もまた例外ではなかった。

「百姓には、学問なんていらん」

戦前、祖母の一言で、中学校進学が断られた父は、向学の思いが人一倍強かった。父はそれを読書をするこゝろまでまぎらわした。棚には、貧しい農家には珍しく、立派な装丁の『芥川龍之介全集』が並んでいた。

娯楽の乏しい田舎にあつて、小学生の私は暇さえあれば、この全集を読んだものである。もちろん大人の本であるから、読めない漢字や意味の分からない語句が多かった。あるときなど、「接吻って何」と聞き、

「子どもはそんなこと知らんでええ」

と叱られたこともあった。

きつと、この頃、本を読む中で、知らず知らずのうちに「涙」という旧字体が、頭の中に植えつけられたのであろう。

十五年前、私は故郷を離れ、三重県松阪市へ転居した。それでも、ふと「涙」という字を思い出すと、さつま芋がごろごろ入っていた粥や、わらの匂いがこもった農具小屋など、田舎の情景が浮かんでくるのである。

新しい漢字学習法  
漢字音符字典

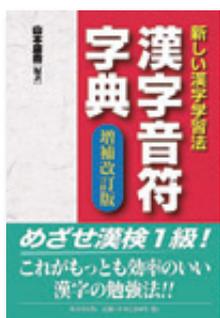
増補改訂版

2012年 東京堂出版  
山本康喬著

紹介者 京都府 山本さん

漢検1級対象の漢字約6400字を音符で分類した字典。著者が漢検準1級、1級の勉強に苦労している中で、漢字を憶えるのに工夫を重ねてたどり着いたのは、形や音の同じ部分を持つ字をまとめて憶える方法とのこと。音符で分類すると、同じ音符(部分)がそろっている上に、読みも同じか近い音の字がそろいます。

漢字の形は体系をなして繋がっていますので、この繋がりが一目で判るように工夫して分類してあります。部首とは全く異なる分類です。中学校以上で新たな漢字を憶える際に使える、新しい学習法です。但し2割ぐらいの字は繋がりに乏しく単独で憶える必要があるようです。



右記の書籍の購入は、お近くの書店もしくはインターネットで。

第2回

漢感興起 かんかんこうき

「巷に生きる漢字あれこれ」

「観感興起」…目で見、心に感じ、感動して奮起すること。

〔漢検四字熟語辞典より〕

さまざまな立場を通して感じる、またそれぞれの角度から観ると、漢字の姿は一樣ではないようです。このコーナーでは、漢字と特別な関わり合いを持つ人を取り上げ、その人ならではの「漢字模様」について伺います。

今回は、非漢字文化圏の国々からお越しのネットワーク会員にスポットをあてました。彼らの目に、漢字や日本語はどのように映っているのでしょうか。

右から

静岡県 プレット・メイヤーさん(30)  
(平成24年度第2回検定で一級に合格) (以下、「B」)  
●ご出身…アメリカ(日本に来て5年目) ●ご職業…翻訳業

山形県 ダニエル・ピアースさん(25)  
(平成23年度第2回検定で準一級に合格) (以下、「D」)  
●ご出身…ニュージーランド(日本に来て5年目)  
●ご職業…外国語指導助手

神奈川県 ジョン・プロブストさん(32)  
(平成23年度第2回検定で準一級に合格) (以下、「J」)  
●ご出身…アメリカ(日本に来て6年目) ●ご職業…英語の先生



— 本日はお集まりいただきありがとうございます。ございました！非漢字文化圏に生まれ育った皆様、なぜ漢字に魅せられたのかお話を伺いたのですが、その前に：プレットさん、一級合格おめでとうございます！

B：ありがとうございます！でも、一級は合格で終わらない、合格から始まるという感じがしますね。

— では、皆さまが漢字と出会ったきっかけを教えてください。

B：高校生の時、友人から日本のアニメやドラマを見せられました。当然、何を言っているのかは分かりませんが、画面がとても魅力的だったので、もっと知りたいと思い勉強を始めました。

D：日本のアニメなどはニュージーランドでも放送していたのですが、私は違います。大学一年目に言語を専攻しなければならず、なんとなく日本語を選んでしまったのですが、勉強を始めると面白かったです。そのまま続けて日本語を専攻し、歴史なども勉強しました。

J：高校の時はフランス語を勉強していたけど、真面目じゃなくて…。大学の言語専攻でも、やっぱりフランス語はできなかったんです。そこで、いったんリセットして日本語を始めることにしました。アメリカに輸入されていた日本のゲームが好きだったこともあり。

— そんな日本語の難しかったところは？

B：日本語は文字が難しいけど、発音はフランス語や中国語より易しいです。発音が限定されているから、わりと覚えやすいかな。でも聞き取りは難しい。みんな早口で、分かりませんでした。

D：私はJETプログラム(※)の参加者で、外国語指導助手として派遣された先が山形でした。庄内地方に住んでいるので庄内弁ですが、内陸の言葉は全くわかりません。まあ庄内弁も難しいですけど(笑)。



(※) JETプログラム…日本の中学・高校生の外国語教育の一環として、外国の青年を日本に招く事業。

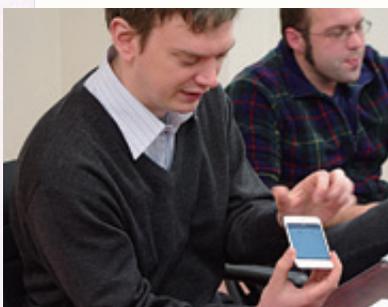
— 漢字の学習はどのように行いましたか？

B：ひらがな・カタカナは書くだけで覚えられましたけど、漢字はとても難しかったです。漢字を絵に例えて、例えば「火」は「Fire」が燃えているような形、「止」はおまわりさんが手を突きだして「Stop」と言っているその手の形、そのようにまず形と意味だけを覚えていきました。読みや熟語などは、後から分けて勉強しました。

D：漢字は形が面白いですからね。私は「柳」が好きです。そのバランスや、本物に似ているところが。

J：漢字は画数が多ければ多いほど面白いですね。D：ただ、意味も読み方も多いことが壁でした。日本に來てから、James Heisig氏の外国人向け漢字勉強法に出会ったのですが、それがとても覚えやすくて。まず漢字の形と意味をひとつだけ学び、後から読みを習得する方法です。偏や旁もよく出てくるものを覚えて、それらが組み合わさっている実際の漢字は、ストーリーを作って覚ええました。

J：私の場合は、一つに決めないでさまざまな勉強法を試してみることが一番だと思っています。それぞれの勉強法にはいいところと悪いところがあるので、一つの勉強法ばかりになってしまったり、その勉強法の弱点が自分の弱点になっちゃうから。だから私は、一つ一つ字を書いたり、ニンテンドーDSのゲームをやったり、飽きたら次の方法に変えるようにしています。今はiPadで「Anki」というアプリに



Ankiアプリを扱うジョンさん



プレットさんのノート表紙

一万八千件の問題を入力して解いています。四字熟語、当て字、読みには例文もつけて、入力だけでも時間がかりました。間違った問題は繰り返し出題される機能があるんです。

D: 私も ANKI は使っています。学校でも生徒に使わせていますよ。

J: よかつたらデータあげますよ。

B: それに比べて私の勉強法は古臭いです(笑)。分野別にノートを作っています。題字などが変わってしまうので、同じ事を勉強し続けていると頭が痛くなるので、ちょっとふざけるのも必要です。書くのは楽しいから、そんなに苦しくならない。ページが字でたくさん詰まっている様子とか、ページをめくるとパリパリする感触が心地いいです。

D: ちょっとやり方は違いますが、私もノートに一字ずつ書き取っています。日本の生徒より字が上手? そう言われますね(笑)

J: でも、その逆もそうでしょ。私も英語の文字を書くとなんかに綺麗じゃなくて、多分生徒の方が上手...

B: 手で書くと、その字のリズムを感じることができません。その字が頭で思い出せなくても、手がそのリズムを覚えているので、誤った字を書いた時に違和感があつて気付くこともあります。

D: 書くのは楽しいですよ。全然苦しくありません。

J: 趣味みたいなもの(笑)

B: 漢字学習で辛いのは、手が腱鞘炎になりそうになるくらいかな。

J: たまに頭痛はしますね。長時間勉強してると...

B: 他に、ツイッターで四字熟語や諺に英語の意味を添

えて更新しています。別の言語でも説明ができるように、また、人に理解させることができるように深く調べると、一段と身につきます。

——最初は苦労していたけれど、結果的にここまで漢字を極めるに至ったその原動力は何だったのでしょうか?

J: やつぱり漢検に合格するのが嬉しいからですね。本屋で漢検の書籍を見て、これなら合格できそうだなと思った6級からスタートしたのですが、その時は別に1級まで目指そうとは思っていませんでした。途中で飽きるか難しくなるかと思っていましたが、まだ気持ちが続いていて、休まずに受検できています。準1級は何回か落ちましたが...

D: 周りの人より漢字が書けるようになったことは嬉しいですね。同僚の先生からも漢字について聞かれることもあります。学校で年3回漢検をやっているのですが、私は最初から2級を目指していたし、生徒と一緒に挑戦できたこともあつて、かつよく2級から受検することになりました(笑)。生徒からも絶賛されましたね。

B: 書くのも楽しいし、新しい字や熟語に出会うのも面白いです。ただ、最近まで気づいていなかった面白さは、昨日、ホテルでジョンさんと出会って、ついに同じ国の出身で、同じ勉強をしている人とテストの内容を相談できたこと! 近所の人は検定問題を見ても、「何も読めない! 日本人でも分からないよ!」で、終わり。でもジョンさんとなら「この問題どうしました?」なんて話せて楽しかったです。もちろん英語で話し合っているんですけど(笑)

J: 盛り上がりましたね。

——やはり、仲間がいることは励みになりますね。

——日本語と英語の違いとは? 言葉から見える日本人の姿って?

J: 日本語の、主語が「わたし、ぼく、おれ」のようにつかえるのは、最初は面倒でした。でも自分のことを何と呼ぶか自由に選ぶことができるので、細かいニュアンスで使い分けられますね。

B: 社会のルールが言語とよくつながっている気がしますね。例えば一人称を選ぶにしても、地位や話し相手により変えたり、手紙を出すときも、封筒が用意されていたら「御」や「様」を消したり...

J: アメリカにはそんなルールはないですね。日本語では自分のことを「Mr. Brosius」と表現することはありますが、語では自分を「Mr. Brosius」と表現することはあります。他にも、日本語には挨拶の「お疲れ様です」とか決まり文句が多い気がしますね。西洋の方はないですよね?

B: ないですね、あつても人によりますね。

D: 西洋の国の中ではニュージーランドが、最も日本の考え方に似ているように思います。ニュージーランドは西洋の中でもちょっと控え目だといわれますね。言語となると、丁寧な言い方もありますが、日本に比べると丁寧語そのものは少ないです。しかし面白いのは「出る杭は打たれる」という言葉。ニュージーランドでは全く同じ意味で「Tall poppies are cut down (背の高いひなげしは切られる)」という諺があります。目立つのは



そんなに良くないという日本と似た考えですね。でもこれは、他の西洋諸国からは控え目すぎると非難されています。同じ英語圏でも違いますね。

——実際に日本に住んで、生徒や近所の方などの生の日本語を聞いてどう感じますか？

J: 若い人の言葉を初めて聞いたときは、教科書に載っていないから何を言っているのか分かりませんでした。「じゃん？」って聞こえたら、私の名前「John」かと思って振り向くこともありましたね。

B: 私は奥さんのお母さんの発言が面白くて好きですね。気合いを入れるときに「よっくらどっこいしよ！」とか、雷が鳴ると「くわばらくわばら」とか。教科書に載っていないなくても、使うのが楽しい言葉をたくさん習いました。隠れている宝石のような、こんな言葉を見つけると嬉しいですね。

D: だいぶ慣れてきましたが、生徒達の言葉も最初は分からなかったです。しかもブームになる言葉がものすごいペースで変化していきます。

J: 逆に、現在の英語では「How are you?」などはめったに使いませんね。

D: 母国の言葉も変わっていきますね。日本に来て5年、母国に帰ったのはたったの2度でしたが、喋り方が変わっていました。あれ？こんな言葉を使っていたっけ？と思うことも…。



——どの国でも、言葉は変わっていくものなのですね。D: そうだからこそその楽しみもありますね。

——これから日本でやってみようとは思っていますか？

D: やっぱ一級合格かな。あとは大学院に行って、英語教授法の勉強をし、資格を取りたいです。

J: 私の場合は一級合格はもちろんなのですが、一度漢字のクイズ番組にこの外国人チームで出てみたいですね！

B: 家で漢字のクイズ番組を見ていると「全部知ってる！」なんて思うけど、家と本番では全然違いますよね(笑)。でも日本人VS外国人でいつかテレビに出たいですね！

他には、漢字の知識を深めて、漢字の興味関心をみんなに広めて、自分の漢字講座を開いてみたいです。いろいろチャレンジしたいことはありますから、やめずに進むことが一番大事だと思います。

J: さすが一級！  
B: ただしつこいだけです(笑)

——では、好きな日本語、座右の銘を教えてください。

D: 「勿怪だの〜」です。庄内地方の言葉で、「勿怪の幸い」からきている言葉です。自分ではなく相手がしてくれたことに対して、「勿怪なこと」思いがけないことをしてくれた「から」恐縮です。「ありがどう」「すみません」等いろいろな使い方をします。すぐく気持ち

が込もった言葉で気に入っています。これこそ最初は全く分からなかった言葉ですが…。

B: 「時かぬ種は生えぬ」ですね。一級への挑戦は、知識のみではなく私の人生をも広げました。一級合格という見たことのない花が咲いたのも、「挑戦」という種を蒔

いたからです。

J: 「破鼈千里(はべつちもんせんり)」です。努力をすれば能力の劣る者でも成功するたとえです。漢検の勉強中に知った言葉ですが、意味を調べて良い言葉だと感じました。

——それぞれの想いがこもった言葉ですね。ありがとうございました。

### インタビュー後記

漢字のない国に生まれ育った彼らが心を奪われた、日本と漢字の魅力はいったい何なのだろう？という疑問から始まった今回のインタビュー。物心ついたころから漢字に囲まれていた私たちと違い、彼らにとつての漢字は、まるで理解不能な文字だったのでしよう。まず形を覚え、意味を覚え、そして読みや使われ方を覚える。いくつもの過程を経て、やっと一つの漢字を習得する彼らの一級・準一級への道のりは、日本人の何倍も険しいものでした。だからこそ、面白い漢字の形や、ちょっとした日本語の言い回しに気づき、心を踊らせる姿は、私たち日本人が忘れていた「日本語に接する時の純粋な感覚」といったものかもしれません。

それでも、夢中になって漢字を書き、ほっと一息ついた時の手のしびれ、残したノート、そして合格したときの例えようのない喜びと漢字への愛情は、私たち日本人と何も変わらないと思えました。



※部に誤植がありました。  
誤「破鼈千里」→正「破鼈千里」

# 初めて一級に合格しました!

漢検の最高峰一級に初めて合格した会員の喜びの声を紹介します。

私は平成二十四年度第一回検定において、一六一点とギリギリで合格することができました。三回目の挑戦でした。

現在大学生である私は、漢検の勉強中、「大学の友人と同様に、英語やパソコン関連の資格勉強をしたほうが将来のためになるのでは。」と苦悩した時期もありました。しかし、漢字を学ぶことは日本語を学ぶことに繋がると思い、趣味と将来の実益を兼ね漢検の勉強に励みました。合格し、箔が付いたことも嬉しく思いますが、学習の過程で得た知識により、読めない本というものが少なくなったことが、読書が生活において大切なことであると認識している私にとっては、何より一番嬉しいことです。

これからは、得た知識により多様な本を読み、多くの見識を身につけ、漢字学習があらゆる学習の根幹をなすことを自ら証明できるように努力したいと思っています。

同時に、周囲の人々に漢字の魅力、漢字学習の効用を伝えることを目標とし、そのためにも漢字の知識を忘れてしまわないよう、定期的に学習したいと思っています。

宮城県 沖中さん

漢検で得た知識で、読書の幅がぐんと広がったようです。さらに幅広い知識を書物から吸収していくてくください。大学の勉強に役立つたという経験などがあればぜひ教えて下さいね。

平成二十四年度第二回、三度目のチャレンジで初合格。一級初挑戦までの二年間は専ら「完全征服」をはじめとする市販の問題集を解いた。四冊の問題集をほぼ覚えたかな、という辺りで初挑戦を決意。合格まであと9点。壁の高さを痛感。引き続き四問題集を回す。問題集だけでは恐らく合格にはとどかないだろうと、辞典の付録にある「熟字訓・当て字索引」をパソコンのエクセルに打ち込み、アトランダムに並べ替え印刷。毎朝、朝食の供に。四問題集はほぼ完璧。プラス当て字制覇で二度目の挑戦。合格まであと4点。どこまでも高い壁。それでも、熟字訓・当て字の読みは満点を取り、勉強法に誤りは無いと確信。四問題集、当て字を継続。加えて四字熟語辞典の一級用のものをすべてエクセルに。四字熟語の読みをひらがなで入力し、アトランダムに並べ替え印刷。その横に漢字四字を手書き。漢字部分を隠し書き取りの要領で回す。出題形式とは異なるものの効果は絶大。一級用四字熟語も制覇。三度目のチャレンジ。合格。思うに、市販の問題集を解くだけでは不足。漢検漢字辞典と漢検四字熟語辞典をもとに自分で問題集を作り、それを解いていく。一見遠回りのようであるが意外に近道であるのかもしれない。

京都府 安藤さん

エクセルを駆使し、アトランダムに並べ替えるという勉強方法が功を奏したようです。独自の勉強法を編み出してコツコツと継続し、見事一級に合格されました。

平成二十四年度第二回、五十八歳で準一級合格後、連続四回目の受検でした。

過去三回の反省より、これまでの総花的な勉強法から、今回は四字熟語に特化してみました。音読表記から読み下し、漢字変換する。そして、派生する意味を理解する。手のひらサイズの二表を常時携帯し、通勤時の車中や浴室の中、所構わず漢字に変換できるまで繰り返しました。こうして「書ける四字熟語」を増やしていったことが、対義語や類義語を含む語彙の習得にも役立ったようで、過去問での得点も目に見えて上がってきました。また、出典を辿ることで、四字に凝縮された史実の一端を時に垣間見ることもできます。確かに若い頃と比べると記憶力の衰えは隠せませんが、昨日覚えたばかりなのに、今日は読めない、書けない。そんな自分の惚けふりと不甲斐なさをも楽しみながら、遊び感覚で<sup>だらだら</sup>続けられたことが、今回合格点を取れた要因かと思えます。

ただし、得点は一六八点。苦心の四字熟語も満点とはゆかず。嬉しい反面、まだ力不足の感は否めません。準の冠もどれ、漢字行脚の道は始まったばかり。ご褒美の『字通』を繰り、次回挑戦に上げる所存です。

神奈川県 伊藤さん

四字熟語の辞典を深く勉強したことが、意外にも対義語や類義語の点数アップに波及したという好事例でした。ぜひ試してみたいかがでしょうか？

# 会員通信への投稿募集中心！

会員通信を充実させるため、会員の皆様に会員通信への積極的な投稿をお願いしております。

## ● 常時募集

(掲載できかねる場合もございます)

## 漢字一字に込める想い

自分の好きな漢字、自分にとって思い出深い特別な漢字など、漢字一字に込められた想いについてのショートエッセイを募集します。その漢字一字と漢字にまつわるエピソードを、タイトルを必ず添えて500字以内(タイトルを含む)でお書きください。

## 一級に初めて合格しました！

この一年で、難関の一級に初めて合格した方の喜びの声と、合格のポイントを紹介します。

以下の項目に沿って原稿をお書きください。

- 項目 ● ①いつ合格したか  
 ②何回目の挑戦での合格だったか  
 ③合格に向けて工夫したこと(勉強方法等)、励みになったこと  
 ④合格したときの気持ち・感想  
 ⑤今後の目標
- 対象 ● 平成23年度第3回(2月)〜平成24年度第2回(10月)の検定で初めて一級に合格された方
- 字数 ● 項目①〜⑤までで5000字以内

## 投稿方法

原稿とともに会員番号、氏名(ペンネームで掲載希望の場合はペンネームも添えること)、電話番号を必ず明記し、郵便・FAX・Eメールでお送りください。  
 ※Eメールの場合は原稿書式を「Microsoft Word」もしくは「一太郎」とし、添付ファイルでお送りください。

### 締切日

2013年3月15日(金) (協会必着)

### 投稿先

- 郵送 〒600-8585  
 京都市下京区烏丸通松原下五条烏丸町398  
 財団法人 日本漢字能力検定協会  
 漢検生涯学習ネットワーク担当
- FAX 075-352-8310
- Eメール lifelong@kanken.or.jp

すべての投稿を掲載できるわけではありません。原稿はこちらで一部省略・校正することがあります。ご了承ください。

## 漢字・日本語に関する お薦めの書籍紹介

書名、著者名、出版社名、発行年を明記し、お薦めの理由を250字以内にまとめてお送りください。

## 漢字に関するパズル・クイズ

子どもからお年寄りまで楽しめる面白い漢字パズルを募集します。問題と解答を必ずセットにしてご投稿ください。(未発表作品に限ります。)

例 ● 漢字クロスワードパズル、子ども向け漢字クイズ(学習漢字のみ使用)、難読漢字パズル等

## 日本漢字能力検定 平成25(2013)年度

## 第1回検定日程(公開会場)

検定日	申込受付開始日	申込締切日(協会必着)
平成25年6月30日(日)	平成25年4月1日(月)	平成25年5月30日(木)
※ただし、書店での申込受付は平成25年5月27日(月)まで 書店での支払い後、願書の郵送は平成25年5月30日(木)協会必着		



財団法人 日本漢字能力検定協会

本部 〒600-8585 京都市下京区烏丸通松原下五条烏丸町398  
 ※「漢字検定」「漢検」は登録商標です。無断転載・コピー不可。

インターネットで漢検情報を!!

漢検

検索

http://www.kanken.or.jp/



0120-509-315

月～金9:00～17:00(祝日・年末年始を除く)

※検定日とその前日にあたる土・日は窓口を開設

※検定日・申込締切日は9:00～18:00

